

# 第198回 熊本県病院薬剤師会研修会 確認テスト

2021/9/4

1. 原発性骨粗鬆症の投薬基準として、部位として（ ① ）もしくは（ ② ）の脆弱性骨折の既往、あるいは骨密度が若年成人平均値の（ ③ ）%以下がある。
2. 骨粗鬆症治療薬には骨代謝に対して、大きく分けて（ ④ ）および（ ⑤ ）があり、（ ④ ）を先に使うようにする。
3. （ ⑥ ）遺伝子の多型はお酒を飲んだ後に顔が赤くなりやすくなる体質と骨粗鬆症発症のリスクになる。
4. 大腿骨近位部骨折の発症リスクとして（ ⑦ ）を考慮する。

## 一選択語句一

脛骨 大腿骨近位部 椎体 骨盤 70 80 90 骨密度増加薬  
骨吸収抑制薬 骨代謝促進薬 骨形成促進薬 CYP2C19  
ALDH2 ADH メタボリックシンドローム ココモーティブシンドローム